

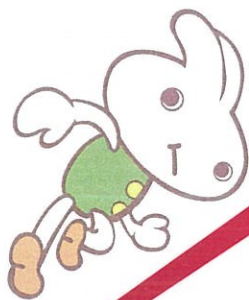
● ● ● ● ● ● ● ●
SEIKI
COMMUNITY GROUP

成績向上・志望校合格のための

「やる気、 本気アップ 講座」(志共育)



2020年度より全面導入!



教育とは未来への準備

すべての子どもたちに、十分な「未来への準備」を！
2020年本講座を全面導入いたします。

「やる気、本気アップ講座」講師の所感

Q.「やる気、本気アップ講座」を担当して、一番印象に残ったことは?

A.志の一文の発表の場面ですね。子どもたちが創った志を聴いて、本当に一人一人にそれぞれの志があることを強く感じました。そして志を仲間に伝えることで、自分にとっても仲間にとってもパワーを増幅していることがとても嬉しかったですね。

Q.「やる気、本気アップ講座」を通じて子供達がどう変わったと思われましたか?

A.志が明確になって、「自分をもっと鍛えないといけない!」とみんなが感じ始めました。今までは何となく勉強してきた子もいましたが、勉強の目的に気付き、前向きになったように思います。そんな子どもたちに頼もしさを感じ、私自身もワクワクしています!

Q.「やる気、本気アップ講座」の意義をどう感じましたか?

A.無目的な勉強や選択はいずれ限界が来るんです。自戒の念を込めてなのですが、ですので、将来を考えて、こういう志があるから今の自分はこういうことをがんばるという勉強が子どもたちの幸せにつながるかと考えています。その根本を探求する意義は大きいと思いますよ。



保護者様の声

Parent's Voice



成基学園への通塾によって、子どもが将来の夢や志を立てることができたのは、何物にも替えがたい宝だと感謝しています。(小4)

受験だけではなく、将来を見据えて取り組む姿勢が身に付き、結果勉強に対するやる気につながっているようです。(中3)

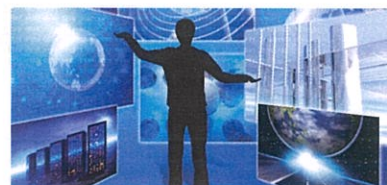
子供自身で夢や志、それに向かって今すべきことを考え、合格達成へと繋げてくださる講座で、感銘を受けました。子供も授業を受けて将来についてよく考えるようになり、中学受験を乗り切る糧になっていると感じています。(小6)

なぜ勉強するのかという根本について考える機会ができたことを喜んでおります。また、夏の合宿では、同志たちと集中して勉強することで、これまでなかった「本気のやる気」が芽生えたように感じております。(中3)

志を明確に持つ事はまだ早いようにも思っておりましたが、子供が時々家で自分が将来何になりたいかを考えているのを見ると、大切な事なのだと思ってきました。(小5)

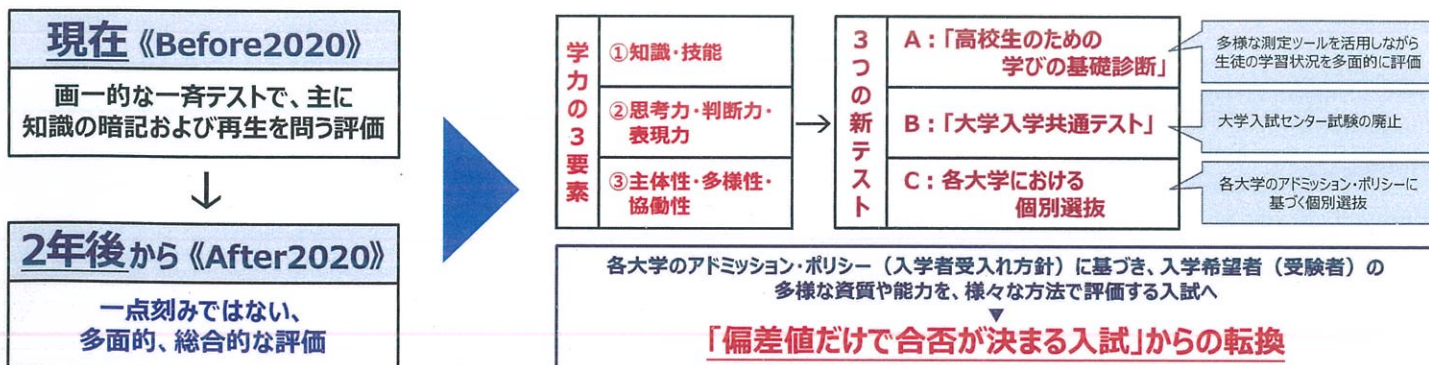
なぜ今、「やる気、本気アップ講座」(志共育)なのか?

昔は、とにかく真面目にやっていたらさえすればよい時代でした。仕事も就職してから覚えていくことができました。しかし、今の時代は、新卒であっても、就職の採用面接時等に、「君は何ができるの?」「当社で何をやりたいの?」「何を実現したいの?」と問われるのです。つまり、「自分というもの」をはっきり持っていなければならない時代になったのです。「自分というもの」、それこそ、人生の目的であり、自分は何のために生きているのか、何のためにこの仕事をするのかということであり、それは「志」そのものです。すべては「志」あっての人生なのです。と同時にそれは、人生の「基(もと)」を「成(な)」すもの、成基が創立以来こだわってきたことなのです。そして2020年度より、学園生、ゴルフフリー生全員に受講いただき、学力を伸ばし、志望校に合格するのみにとどまらず、その後の人生を生き抜く根本の力として身につけていただきます。



2020年から大学入試が変わる!

英語の民間検定、国語・数学の記述式導入は延期です。しかし、**大学入試は変わります!**
共通テストにおいて、思考力や判断力を従来以上に問う出題方針は変わっておらず、「センター試験に戻る」わけではありません。思考力や判断力は、主体性や能動性、自立性から生まれるもので、その根底には志が必要です。



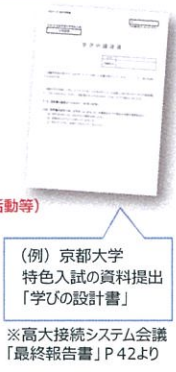
大学入試においては今後ますますその傾向が強まると考えられます。

各大学における個別選抜

神戸大学 新AO入試 (2019年度から)

具体的な評価方法の例

1. 「大学入学共通テスト」
〈旧: 「大学入学希望者学力評価テスト」(仮称)〉の結果
2. 自らの考えに基づき論を立てて記述させる評価方法
3. 調査書
4. 活動報告書 (個人の多様な活動・ボランティア・部活動・各種団体活動等)
5. 各種大会や顕彰等の記録、資格・検定試験の結果
6. 推薦書等
7. エッセイ、大学入学希望理由書、学修計画書
8. 面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション
9. その他



「志」の高さで選抜

神戸大学は、2019年度入試から「**志**」特別入試」と名付けた新たな AO(アドミッション・オフィス)方式を導入し、それぞれの分野のリーダーとなって21世紀の人類社会に貢献したいという高い志を持つ学生の選抜を始めた。

文・国際人間科学・法・医・工・農・海事科学の7学部で実施し、定員は計48人。
大学入試センター試験は課さない。

一定の学力水準にある学生の中から、書類審査や模擬講義を受けたレポート、総合問題などの結果に基づく第1次選抜と、面接・口頭試問やプレゼンテーション、小論文などの結果による最終選抜で選ぶ。2018年8月に願書を受け付け、11月末には合否が発表された。合格者は12月から入学前教育のプログラムが受けられる。



これからの大学入試は、

「お互いの志をマッチングさせる入試」=「相互意志確認型入試」であると言える。



小論文試験では、読解力・思考力・論述力が試されます。高いレベルで自分の意見・考えを筋道立て、明確に論理的に書くことが要求されます。**自分の想いや志を明確に表すことのできる「やる気、本気アップ講座」の内容は、小論文試験でも生きてきます。**

それに対応するためには、大学受験までに「自らの思い」、「将来の夢、希望」、それらを実現する「明確な道筋」を固めるほど合格に近づくとも言えます。まさに、「やる気、本気アップ講座」が行っている内容と合致し、2020年以降の大学入試に効果的と考察することができます。

「やる気、本気アップ講座」(志共育) は基礎と応用の二本立てになります。

基礎講座では、志(=人生目的)を明確にし、登る山を決めます。その際、中間目標も決めます。

応用講座では、山の登り方を学び、志に近づく方法、志望校合格といった中間目標を達成するための「PDCAの善循環を回す」方法を学びます。

— 私の人生計画登山図 —

私の志

● 志の文言の補足説明など

時期: どのような行動を起こすか

時期: どのような行動を起こすか

時期: どのような行動を起こすか

時期: どのような夢を持ったか

志の元になったエピソード

志の達成のために、今何をすることをルールにするか

諦めず勉強し続けるための最高の方法がPDCAを回すこと!

